

2025～	災害福祉研究	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	萩野 寛雄	

■授業のテーマ

災害福祉の中から、公的セクターによる復興支援に焦点を当て、正義や公正の視点から考える

■授業の目的

- ・本講義は災害福祉を取り扱うが、災害福祉の実践を目的とするものではないので注意のこと
- ・政治学や倫理学の正義や公正の観点から、災害福祉の根源的意義と向かい合えるようになる

■授業の到達目標

- ・公的な災害福祉において不可避な「公正」「公平」「平等」「正義」などの問題を考えられるようになる
- ・復興支援における「補償」「保証」「保障」など、正しい概念定義を基に自分の思考を構築できるようになる
- ・自然災害や人的災害、人的損害や物的損害、正義に適う復興支援の主体は何か、などについて政治学や倫理学の知識を用いながら自分の意見を構築し、言語化できるようになる

■授業の概要

公的セクターによる復興支援では「正当性」が重要となり、公平や平等は根源的で多くの問題を生み出す。本講義ではマイケル・サンデルの「善」の政治哲学を拠り所の一つの可能性として採用し、解説する。

教科書精読とオンライン学習で共通理解を深めて課題1にまとめた上で、対面講義ではグループワークを主に行う。東日本大震災の復興支援を題材にしたグループワークでは、各自の主張を言語化し、意見交換や討論が求められる。このプロセスを経て自分の主張を弁証法的に振り返り、ジンテーゼとして課題2を作成する。

■在宅学修

(1) レポート課題

課題 1	オンライン学習の内容を基に、「あなたの考える正義に適う公的災害福祉支援」をまとめなさい。	【提出期限】 ☐ 対面授業1週間前まで ☒ 対面授業前日まで ☐ その他 ()
課題 2 (事後課題)	課題1、対面 GW を終えた後の「あなたの考える正義に適う公的災害福祉支援」をまとめなさい。変わった点、変わらない点、それぞれ理由を付して記すこと。	【提出期限】 ☐ 対面授業後1ヶ月以内 ☒ 受講年度の最終レポート受付日まで ☐ その他 ()

【要確認】在宅での印刷教材等による学修の報告となる「レポート課題」の他に、オンデマンドを含むスクーリングでは「スクーリング事前課題」「スクーリング事後課題」が設けられています。スクーリング課題（予習・復習）がレポート課題1・2に相当する場合、それとは別に設けられている場合があります。この後に記載のスクーリングの項の各課題についても確認してください。

(2) アドバイス

課題1 アドバイス

- ・教科書を熟読し、分からない単語 / 人名や事例については調べて精読すること
- ・その上で、講義動画を学習し、サンデルの論旨を正しく理解すること
- ・サンデルの正義の講義内容を、公的な災害復興支援に汎用するとどうなるかを熟考
- ・今の自分の常識から脱して、柔軟に思考すること

課題2 アドバイス

- ・「教科書の正しい理解」「課題1で書いた内容」「対面講義やGWで学んだこと、気づいたこと」を整理
- ・それらをまとめ、課題1の内容を振り返り、弁証法的な「合」として課題2を作成
- ・課題1と変わった点、変わらない点を整理して著述し、その理由も付すこと

(3) 在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	ガイダンス (1回目動画)	15回の講義計画、講義概要の説明	・講義の進め方 ・公的支援の正当性
2	正義とは何か? (1章) (1回目動画)	絶対的正義 / 相対的正義	・「正義」の定義 ・正義の多様性
3	功利主義は絶対? (2章) J. ベンサム (2回目動画)	功利主義とは?	・しばしば功利主義を常識と考えられるが… ・最大多数の最大幸福は無条件に正義か?
4	功利主義は絶対? (2章) J.S ミル (2回目動画)	個々の効用は均一に尊いか?	・道徳性は結果に依存する? ・道徳性は結果から独立して尊重されるべき?
5	リパタリアニズム (3章) (3回目動画)	小さな政府 / 大きな政府 新自由主義	・大きな政府と小さな政府 ・福祉国家
6	「私」は「私」のものか? (3章) (3回目動画)	課税	・課税は正義に合うのか ・自由と平等
7	平等こそ正義か? (6章) (4回目動画)	J.Rawls、正義の2原則	・正義の第一原理 ・正義の第二原理
8	不平等は正義に反するか? (7章) (5回目動画)	Affirmative Action	・福祉は平等か ・Rawlsの肯定する格差
9	正義と共通善 (10章) (6回目動画)	政教分離、「善」	・定言命法としての「善」 ・「善」に基づく災害福祉を達成するには?
10	課題1 (レポート課題)	あなたの考える正義に合う公的災害福祉支援 -1	・サンデルの主張をまとめて理解 ・それを災害福祉に当てはめて考察
11	自然災害の復興支援の主体はどこがなるべき? (対面)	おかれた環境による正義の違い	・国家観 ・政治体制
12	被害の補償に差をつけることは正義に合うか? (対面)	人的被害と物的被害の違い	・保障、補償、保証 ・平等は絶対的正義か
13	人的災害の復興支援の主体はどこがなるべき? (対面)	正義に反する主体であっても救済すべきか	・功利主義と正義 ・自然災害と人的災害
14	リスクのアウトソーシングは正義に合うか? (対面)	金で不利益を肩代わりするのは正義に合うか	・自由意思 ・善
15	ふりかえり、課題2 (レポート課題)	あなたの考える正義に合う公的災害福祉支援 -2	・オンライン学習、課題1、対面学修を振り返って、「正反合」として学修をまとめる

■スクーリング

(1) スクーリング事前課題 (学修時間目安: 15時間以上)

- ・教科書 (マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』の1、2、3、6、7、10章) を精読
- ・不明な用語や概念を事前に調べておく
- ・公的な災害復興支援において、自分の考える正義について考えておく

(2) スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	正しいとは何か、正義とは何か（1章）	オンデマンド
2	功利主義と正義（2章）	オンデマンド
3	リバタリアニズム（3章）	オンデマンド
4	平等は正義か J.Rawls（6章）	オンデマンド
5	不平等は正義に合わないか Affirmative action（7章）	オンデマンド
6	正義と共通善（10章）	オンデマンド
7	グループワーク（自然災害の復興支援の主体はどこになるべきか？）	対面
8	グループワーク（被害の補償に差をつけるのは正義に合うか？）	対面
9	グループワーク（人的災害の復興支援の主体はどこになるべきか？）	対面
10	グループワーク（リスクのアウトソーシングは正義に合うのか？）	対面

(3) スクーリング事後課題（学修時間目安：15時間）

スクーリングの講義内容やグループワークの結果をまとめ、課題2を作成して提出のこと

■評価の方法・基準

- ・課題1レポート（25%）、課題2レポート（25%）
- ・スクーリング（50%）

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- *1) マイケル・サンデル『これからの「正義」の話をしよう』ハヤカワノンフィクション文庫、2011